

柳川地域審議会

第1回会議録

開催日時	平成18年5月17日(水) 10:00~11:06	
開催場所	柳川市民会館 第2会議室	
会議内容	次 第	会議結果
	1 開 会 2 協 議 (1) 答申について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他 3 閉 会	

柳川地域審議会委員出欠名簿

	氏名	機関・団体及び役職	出欠
1	梅崎 暁子	クリーン連合会理事	出
2	大城 昌平	柳川山門医師会代表	欠
3	大坪 正子	柳川市民生委員児童委員協議会地区副会長	出
4	大村 直	柳川市体育協会代表	出
5	小野村 猛	柳川市行政区長代表委員協議会副会長	出
6	古賀 慶作	公募委員	出
7	古賀 寿代	柳川市地域婦人会連絡協議会柳川ブロック会長	出
8	古賀 正孝	柳川商工会議所青年部副会長	欠
9	古賀 義則	柳川地区漁協協議会会長	欠
10	立花 寛茂	柳川商工会議所会頭	出
11	田中 康徳	P T A連合会副会長	出
12	永松 喜久	柳川文化協会副会長	出
13	成清 法作	柳川農業協同組合代表理事組合長	出
14	藤吉 佳美	公募委員	欠
15	真崎 勝子	柳川商工会議所女性会会長	出

(15人中11人出席)

会議録の確定		
確定年月日	平成 年 月 日	
署名	議長	

午前10時00分 開会

○事務局

皆さん、おはようございます。皆様方、本当に大変お忙しい中、また足元の悪い中に御出席をいただきまして、ありがとうございます。

まだ、ちょっとお見えでない方もありますけれども、定刻となりましたので、柳川地域審議会を開催させていただきたいと思います。

本日は、地域的課題についての御意見をいただきたいと思いますが、市長が諮問をしております、それに対する答申を取りまとめなければならない時期になっております。そして、今回に出していただいて、次回を事務局で答申案を皆さんの御意見に基づいてつくって、それを確認していただいて、答申という形になりますので、きょう、ぜひ御意見をいただきたいと思います。また、後で説明しますが、三橋の地域審議会はたくさん課題を出してありますけれども、柳川の方があんまり出てないということで、ぜひきょうは積極的に御意見を出していただくように、ぜひお願いをしておきたいと思います。

それでは、まず最初に会長よりごあいさつをお願いいたします。

○小野村会長

おはようございます。本日は、あいにくの天気、足元の悪い中に、18年度の第1回柳川地区審議会を開催しましたところ、御参加いただきまして、ありがとうございました。

先ほど、課長さんの方からもありましたように、また御案内の中にも書いておりましたように、今回は答申に向けてのまとめをやりたいということでお願いしておりますので、皆さん方の御意見を積極的に出していただきますようお願いしまして、簡単ですが、ごあいさつにかえます。どうぞよろしく申し上げます。

それでは、議事進行をさせていただきますが、まず答申についての説明を事務局の方でお願いいたします。

○事務局

答申について、御説明をさせていただきます。3枚目を見ていただきますでしょうか。「以前の会議等で出された地域的課題」という表題をつけております。こちらの方に柳川地域審議会、大和地域審議会、三橋地域審議会、以前の回答で出され

た地域的課題を挙げさせていただいております。市長から諮問されたことについては、地域的課題についてというものでございましたので、前回、前々回御提言、御意見いただいた分から、全市的な課題とか、もう解決したものについては省かせていただいております。ここに挙げている分と今回出された御意見をもとに、答申案という形を事務局で作成したいと考えていますので、よろしく申し上げます。

柳川地域審議会、先ほど課長も申し上げましたが、施設使用料の調整、減免団体の調整ということで、この分のみということになっております。三橋地域審議会については9項目挙がっております。月曜日に、また三橋地域審議会をしておりますが、さらに追加で挙がっておりますので、10項目を超える課題が挙がっておりますので、ぜひとも柳川地域審議会の方も挙げていただければと思います。

説明は以上となりますので、よろしく願いいたします。

○小野村会長

ただいま事務局から説明がありましたが、何か御意見や答申に追加するものはございませんでしょうか。

○梅崎副会長

三橋はいっぱい出ておりますけれども、こういうのはね、私たちもずっと思っていることだし、いろいろな会合で出ているから、ああ、ここで出さなくていいだろうと思っておりましたけど、こんなして出してよかなら、幾らでもあります。特に、バス対策なんかは、バス対策協議会というのがあるから、そこで出させていただくから、もうここで出さなくてよかやろうと思っていたんですよね。蒲池なんかは、1週間に2回は来ていますけど、ちょっと私も乗ってみましたけどね、1週間に2回ぐらいでは、皆さん毎日来るならいいけどと言われるけど、乗ってもずっと回っていかんやいかんから、目的地に着くには、普通に自分で行ったら10分もかからないところが、30分、1時間かかりますよね、ずっと回っていくからね。だから、こういうのを要望してよかなら、毎週回ってくるように、市のバスですか、あれね。

それから、もう一つは、堀川バスが来んようになっていたから、また来るようになったからとかありますね。だから、特に柳川は、そこまで来たら、その先をどうするかとか、バスの確保とか、そういうのはバス対策で出させていただくから、もういいだろうと思っておりましたけど、出してよかったら、柳川地域審議会でも、ぜ

ひ書いておいてください。

○立花委員

今、私も、これ見ていたら、大和町、三橋町バス等の交通手段を書いてありますけど、バス対策の方からすると、そういう情報が大和町なんか、もうずっと走ったらんから、ここはもう要らんのかなあというような考えで進めよったんで、こういうのが出てきた方が、私たちもいろいろ検討しやすいですね、バス対策はバス対策で。

○成清委員

ちょうどバスの問題が出ておりますので、それに合わせて、私もバスの件に関して、ちょっと提案したいと思いますが、実は18メートル道路を真っ直ぐ有明海の方に行けば、むつごろうランドがありますね。そのむつごろうランドの手前東100メートルぐらいのところに、ちょうどこの県道からむつごろうランドに入る橋がありますが、あの橋をもうちょっと拡幅はできないものかなあというのを感じるわけです。というのは、よそからの学校の子供たちが有明海の勉強に来るときとか、むつごろうランドの方にバスで来るときに、あそこに曲がり込まれないわけですよ。橋が狭い。また、この18メートル道路の前に家がありますので、カーブができないということで、大型バスは前進で行って、またバックで切り返すというような、非常に便利が悪いようになっておりますので、ずっと以前から道路の拡幅と、それから道路の拡幅が無理ならば、橋をもうちょっと広げてほしいというのは要請しておりましたけれども、いまだかつてなっていないもんだから、この中に入れてもらいたいなあという感じがします。非常に観光客も多い中で、そういう状況ですので、特によく、ひとつお願いしたいと思います。

○小野村会長

ほかに何か、今バスの問題が出ておりますが、これに何か関連してありましようか。

○永松委員

私も、自分が年とってみて、自動車が運転できなかつたり、自転車に乗れなかつたりすると、便利なようなこの柳川でもですね、バスが少ないのは非常に不便でございます。電車に乗りに行くにしても、ハイヤーに乗っていかないと、駅まで着き

ません。それで、病院通いや何かだけじゃなくて、頻繁にバスが通ったら、どんなに助かるだろうかと思っております。

○小野村会長

バスの回数問題等が出ておりますけれども、問題はバスの乗車率が悪いということで、バス対策の会長であります立花会長も見えてありますけれども、私たちの中でも、今頭を悩ましているのは、その乗車率をどういうふうにして向上させていくのか。そのことによって、市民の交通の便利が図られる方策があるかどうかということを、今真剣に検討しているところですが、要望としては、やっぱり特に高齢者の方、あるいはひとり暮らし等で、足の確保がないと、こういった人からは、バスが唯一の交通手段になっているから、やっぱり回数をふやしてもらいたいというふうな、そういった要望が強いことは事実だと思っておりますね。

ほかに何か、はい、どうぞ。

○成清委員

もう1点、これは、相当金もかかることだと思いますので、検討課題の一つになるんじゃないかなと思いますけれども、柳川高校の前の交差点、城南町ですか、あの交差点の対策は何かできないものかな。これは、協会なり、いろいろな団体から、警察の方にも要請があつておるようですけれども、なかなか改善がされない。というのは、あそこで一回、全部車がとまるもんだから、朝のラッシュが相当な距離で停滞をしとるわけです。これはもう、4つの方向から停滞しよるもんだから、これは何か解消がなかろうかと、例えば陸橋をつくるとか、何とか、これは真剣に考えるべきじゃなかろうかと、朝のラッシュは、もう完全にあそこだけでも10分なりかかるようございまして、困つてあるようですので、これは何とか、特別にでも考えるべきじゃなかろうかと思っておりますので、これもつけ加えておきたいと思っております。

○小野村会長

今の交通信号の問題ですが、あの交通信号は県南で、何か柳川で、初めて導入しとるといふようなことで、当初非常に警察あたりも強く宣伝しておったんですが、利用者にとっては非常に不便だということで、あんまりよい評価は得ていないようです。これは以前から、今の話はあつておったと思っております。

○古賀（寿）委員

そのことに関連ですけど、私の行政相談にも、それが上がってまいりましたんで、警察の方と、ちょっとお話ししたんですけれども、当初もう上がってきたときは最初でしたからね。そのときは、あれがすごく事故の率が少ないそうですね、あの信号機は。だから、つけたということで、もうそのまま、私のところでは、ああそうですかというような解決をしましたんですけど、結果的には、すごくみんな困っているなあと、私も思っております。

○古賀（慶）委員

あれはね、私が一回昭代の区長会長をしとるときに警察と打ち合わせたんですよ。当初、設置したときの歩道の、あいとる時間が、ちょっと長過ぎるということで、18秒に短縮していただいた、いきさつがございます。ところが、やっぱり今の御意見聞いておきますと、その18秒がもっと長過ぎるんじゃないかといった感じを受けました。

○立花委員

18秒ぐらいだったら、物すごく長いような感じがする。

○古賀（慶）委員

それで、その18秒は、やっぱり問題になってくるんじゃないかと思うわけですね。

○永松委員

歩行者の立場から言うと、あそこで死亡事故が幾つもあったわけですよ。それで、今は安心して渡れますけど、あれがもう少し時間が長ければいいけど、走らないと対角線には行けないわけで、一回待ってまた行かなきゃいけない。だから、歩行者の立場からすれば、スクランブルにしてもらえば、もっといいんですけど、自動車の方は非常にお困りだと思います。それで、改善されても、歩行者が危なくないようにしてもらわないと困るわけです。陸橋ができればですね。

○古賀（寿）委員

今、陸橋を渡る人少ないね。

○古賀（慶）委員

年寄りだね。

○古賀（寿）委員

今、現在陸橋があってもね、私みたいに足が悪い人も多いから、そこにエレベーターがついているんですよ、今の陸橋は。エレベーターがこっちとこっちに。そんなふうになっているんですよ。

○立花委員

どこかに陸橋があっても、あんまり渡っている人見たことないもんな。

○成清委員

これは、相当問題がいろいろあると思いますけれども、やはりこれは真剣に、あそこは取り組まなければ、まず歩行者を守るとというのが第一優先、もちろんこれが来るはずですが、何とか解決策を考えなきゃならんとやなかろうかと思えます。

○古賀（慶）委員

これは、特に通学路に関することですが、私の住んでおる昭代は、市街地に比べて、夜はもうほとんど有明橋を渡りますと、昭代は真っ暗なんです。それで、一番困っておるのは、中学生の部活帰りです。夏はいいですよ、もう冬になりますと、すぐ日が暮れまして、各家庭の中学生のお子さんを持ってある方々は、もう非常に帰りを心配してあってですね、迎えに行く人もおるけれども、迎えに行けない人は、もう我が家で、まだ帰ってこん、まだ帰ってこんということで、ずっと心配のしどおしなんです。それで、私が思うのは、やっぱり要所要所、市道、県道、これに照明をつけていただきたい。そうすると、やっぱり中学生の帰り、安心して帰れるんじゃないかと思うわけですね。それで、できるならば、これはもう予算相当かかるとは思いますけれども、何とかひとつ踏ん張って、角々の照明、よろしくお願ひしたいと、こういうふうに考えております。

○田中委員

私、両開なんですけれども、両開もその話が持ち上がってですね、何回か話し合いをしっかりとですよ。一番の問題は電気料だろうと思います。両開地区から補助は出とりますけど、地域と地域の間が、やっぱり街灯がないと、それと田んぼの地権者等の話し合いがよくされてないというところから、非常にこの会議でも話があるだろうと思います。そのところを何とか1本でも、2本でもいいから、多く街灯をつけていただきたいと思えます。この柳河地区やったら、看板とかあるか

ら明るいけれども、やっぱり両開とか、矢留とか、昭代、やっぱり暗いんですよ。

○古賀（寿）委員

でも、何かあれば、農作物に被害があるということだったでしょう。ずっとつけていると。だから、ちょっとまた検討し直しているみたいですが、両開は。

○成清委員

時間帯で切ったりさるるげな。

○田中委員

12時ぐらいでぽっと切って。

○古賀（寿）委員

でも、12時で切っていいということは、ちょっとおかしいんじゃないか。そのころに。

○田中委員

通学路だけでも、正確にしてもらおうとよかばってんね。

○古賀（慶）委員

それは、もう一晩じゅうつけておかんでよかったですよ。10時なら10時、12時なら12時でも。

○成清委員

これは、ちょっと私は今の意見に反対ということじゃないわけです。私の商売ですから、それがどういう状況になるかということだけ参考のために、ちょっと話したいと思いますが、作物の中に長日性と短日性と2つあるわけですね。電気をつけて生育を促すということと、今度は暗くして生育を促すということが両方あるものだから、非常にやりにくいわけですね。特に、田舎の方では、今減反政策の中で大豆をつくっておりますけれども、この大豆というのが、非常に短日性ですから、電気をつけたら、花芽が来ないというような、非常に悪いことがでるわけです。ですが、今問題が出ております道路の暗さというのは解決しませんので、これは何か対策はないかということにすれば、今古賀さんの方から言われおりますように、10時なり、9時なりで電気をとめれば、問題はないわけですよ。したがって、これは一晩ずっとつけておくということになれば、問題がありますが、やはり一番大事なときに点灯するということができれば、問題ないようでございますので、これは、特に

田舎の方、まあ柳川は全部田舎ですけれども、やはりそういうことも考えながらするべきじゃないかと、しかもタイマーがありますので、これは、今あれでやっておりますように、何時間点灯しようというのがされますので。

○小野村会長

今の問題は、蒲池地区に稲の開花時期等に電灯をつけっ放しにしておくと、非常に影響があるということで、その開花時期だけ街灯を消すというようなことで、ある程度対応しているところもあります。やっぱり、一番は、子供たちの安全を守るためには、やっぱり道路が明るいということが大切だと思いますけれども、反面今度は、そうした農村地域では農家の生産物に影響を与えるというような問題等があって、成清さんの方から指摘されたように、9時以降は消すとか、これが、そういう自動的にするのができるかどうか。スイッチは日が暮れると自動的に入り、明るくなったら、自動的に消えますけれども、逆に9時以降は、多分暗くなるからですね。

○成清委員

それはあります。

○小野村会長

そういったものがあれば、そういった点で、やっぱり街灯について、特にさっき両開の方から出たように、地域と地域の境目のところが、特に柳南中学の両開と矢留との境目、どっちが持つ。問題は電気料をその地域で持たにゃいかんから、今のような問題が出てきてですね、街灯の設置は市でしてあっても、あとは電気料は各行政区で持ってくださいということになるもんじゃから、あそこにつけたっちゃ、そんなに、あんまりためにならんというようなことで、そこら辺の対策も、やっぱり何とか市の方で考えていただくということがあればよかろうかと思います。

○古賀（寿）委員

街灯の件ですけれども、その時間帯、通学のときの消したり、つけたりということだけじゃなくて、私は防犯にもつながるから、つけるんじゃないかと思ったんですけれども、通学だけだったら、それでよろしいんですけどね。ずっとついているということは防犯にもつながるんじゃないかなあと思いましたから、ちょっとさっき田中さんの意見のときにどうかなと言ったんですけど。

○大村委員

基本的な問題を述べたいんですけども、ここの以前出された地域的課題で、圧倒的な三橋の場合は、多岐にわたったことが書いてあるわけですね。実は、私最初からこの審議会に出ていて、その出された当日のテーマに従って、大体意見を出していたつもりなんですけれども、これ何か皆さん意見はありませんかというような聞き方を三橋でされて、こう出てきたのか、一番最初に梅崎さんがそういうことを言われましたけれども、こういうテーマを出していいのであれば、私は幾らでもあるわけです、実は。それで、三橋で一番下に書いてありますけれども、実は私は、もしきょう取り上げていただけるならば、柳川市に総合運動公園をつくってほしいということを挙げたいと思います。

これは、審議会委員の要望になるわけですね。なぜかと言いますと、実は今柳川市に結構グラウンドなんかは点在してあるわけです。これは三橋、大和まで入れるとあるんですけども、いわゆる公認の試合ができるような、きちっとしたグラウンドがないわけなんです、中途半端なんです。例えば、野球にしても、軟式野球にしても、恐らく両開の方なんかと、いわゆるB&Gを使っているんですかね、今。あっちこっち、分かれてやっていますけれども、もちろん試合数を消化するためにもやっているということでしょうけれども、とにかくきちっとしたグラウンドがないわけですね。よその中体連、運動体連なんかを呼んで、ここですということも、余り聞かないんです。ほかの競技もそうです。陸上競技場もないし、サッカーにしてもありません。そういう、きちっとしたものを、交通アクセスを考えて、駅から歩いて10分以内ぐらいのところに欲しいなあという気がいたします。いわゆる、学校が全部車で来るわけじゃないですから。

○立花委員

以前報告のあった市民アンケートを見ると、いっぱい意見が出てきますよね、中に水の問題だとか、今おっしゃったグラウンドの問題だとか、公園がないだとか、学校選択制の何とかだとか、いっぱい出てくるんで、何かあの辺から、すべてというわけにはいかんやろうけど、多いやつなどを提言に入れたらどうでしょうか。せっかくアンケートをとって、それは関係なく、こっちはこっちでやっている。アンケートはアンケートとして終わるのではなく、せっかくとったので生かさなけれ

ば意味がない。「自分にアンケートを提出するチャンスを与えてくださってありがとうございます」という方もいらっしゃるみたいだからですね。それも、やっぱり尊重してやっていかないと、もったいないんじゃないかなあと思いますけどね。

それと、三橋の方には出ていますけれども、校区の見直しというよりも、学校選択制というか、もうそろそろ、そういう時期に来ているんじゃないやろうか、それはやっぱり先生たちが頑張ってくださいように、何か近いからそこだとか、好むと好まざるにかかわらず、そこに行かんといかんじゃなくて、親だとか、子供たちが選択できるようなことというの、思い切って考えていかんといかん時代が来ているんじゃないかなあと思います。

それと、行政にお願いですけれども、ここ来て、これを見て気がついたんですけど、さっきの交通手段の問題だとかって、余りにも行政が縦割り過ぎるもんやから、こっちと同じようなことが検討されている。こっちもやっているけど、それが全然連携がとれてなくてですね。だから、正直言って、バス対策の方のあれや何かからすると、大和町だとか何かというのは、もうバスは要らないのかなあとということで、はなっから考えずに、バス対策というのを考えていましたけれども、これを見ると、三橋町だけじゃなくて、大和町からも要望出ているし、それからまた週2回じゃなくて、たくさんというような、あれも出ているんで、その辺で、お互いにもうちょっと情報交換がスムーズにできるように、バス対策の方にも、市民の方からこういう希望が出ていますよというのを出してもらえれば、大変ありがたいと思います。

○成清委員

ちょっといいですか、これお尋ねです。今、旧行政のそれぞれの中で、こういうことを検討してありますね。この3つから出てきたことを、これは統一して、また検討するというような組織があるわけですか。

○事務局

いいえ、それはございません。一応、市長にこれをそれぞれ答申をしてもらって、それを今度マスタープランとか、そういう中に反映をさせていこうということです。

○成清委員

そうすれば、各地域の審議会の中で出てきた案件を、じゃああとは市長さんなり

が検討をされるということで。

○事務局

そして、総合計画の審議会は審議会でありますので、その中で、特に総合計画の中に入っていないような問題で、重要な問題があれば、そういうことが出ているからということで、総合計画の中に入れてもらうというようなことになろうと思います。

○成清委員

はい、わかりました。

○小野村会長

そうすると、現在進行している事業等についても、この審議会の中で、再度出しでもいいということですかね、どげんなるとですかね。例えば、蒲池の場合ですね、国道385号線のバイパス道路改良が、今進行しているんですよね。そういったのが、早期に完成していただきたいというのが、蒲池の住民の要望であるし、そういうのをそのまま出していいとですか。

○事務局

それは、そういう事業を早く推進してほしいということであれば、そういう要望として出されて結構だと思いますけど。

○小野村会長

そうしますと、ちょっとこれ私の方からですが、道路問題で、非常に柳川の道路網というのが、整備がされていないと思うんですよ。特に、蒲池地区では、南北線が県道久留米柳川線、それから国道385号線が南北線であるんです。東西線は、一番北の方に水田大川線という県道があります。ですが、どれをとっても、幅員が狭いために朝夕の混雑で非常に渋滞して、地域住民の方は困っている。特に、歩行者の方は、どっちの道路も同じですが、特に国道385号線の場合などは、大型車が両方から来た場合には、歩行者はもう道路の端っこに、それこそどうかしたときには田んぼの中に入らんと、危なくておられんような状況なんですよね。だから、それを早急に改良してもらいたいというのは長年の要望であって、今やっこの国道385号線については22年までに完成させたいというようなことで進行しておりますし、県道久留米柳川線では、バイパスが、今検討されて、今年の秋ごろには路線の説明が

なされるように聞いております。そういった要望が強く蒲池の場合には出て、特に東西線として、地域の中央に、ぜひ1本つくってもらいたいというのは、都市計画の中であった高橋中牟田線、今中牟田から県道久留米柳川線まで事業が終わって供用されていますが、それから高橋の方に抜けるこの道路を、ぜひやっていただきたいということで、いろいろ市の方に陳情もして、今年から5年がかりで国道385号線のバイパスまで延長事業をやるということで、今測量に入っているんですが、そういった道路問題が、非常に柳川の場合には大きくあるんじゃないかならうかと思えます。

特に、これは、私が向こうの出身地ですが、東宮永の小学校前の、あれは山川何線ですかね、あの線がもとの駐在所から西の方、学校の前までが拡幅できないままで、狭い道路になっとるんですよ。これは、朝夕子供たちが必ず通らにゃいかん通学道路であるし、これの拡幅を、やっぱり早急にしてもらいたいというのが、地域住民の要望であるし、また子供たちの願望でもあると思えます。そういった道路網の整備を、やっぱり早急にやっていただくと、特に道路網を整備することが企業誘致等にもつながっていくんじゃないかならうかと思えますから、その点はよろしく願いしときたいと思うんです。

特に、蒲池の場合は、農家のほ場整備事業が中止になった関係で、ほ場整備事業に乗せて、水路の整備なり、道路の整備が予定されとったのが、一応これは全部御破算になってしまったもんですから、先だって昨年12月の末から1月の初めにかけて、各行政区から最大必要な要望を2点挙げていただきたいということで、市長の方からアンケートが出たわけですが、この中で、蒲池の場合は水路問題が14件、道路の拡幅問題が14件、この道路と水路に集中しているんですよ。特に、道路の場合には、幅員が狭いがために、子供の通学路の確保ができていないというような、そういった問題点等を、ぜひこの際整備していただきたいと、水路の問題にしても、今国営水路の事業が行われておりますが、その国営水路関係については、きちんとした護岸整備ができておりますけれども、そのほかのクリークの護岸整備が、非常に蒲池の場合には、このクリークが広過ぎるということと、たくさんあって、なかなか整備できずにおるわけですが、それが行政区からの最大の要望になっております。

そういったのを、この柳川地域審議会の要望事項の中に取り入れていただけるといふことであれば、入れていただきたいと思うんですが、今のようない問題、ほかの地域でもあると思いますが、そういった地域の要望は何か出して、それを柳川地区の審議会の市長に対する答申事項としてまとめていくというふうなことになるから、今取り組まれていることでも結構だと思いますので、出していただきたいと思うんですが。

○永松委員

何かこの間までは、大きなところの意見しか言えないようなあれでしたから、私なんかは身近なことですから、こんなことを申し上げていいかどうかわかりませんが、非常に観光に力を入れられて、桜通りとか、観光客を誘致するところとかはつくられていますけれども、柳川の中心にたくさん学校がありますのに、伝習館とか、柳川高校の周囲が非常に汚いんです。どぶも汚いし、草が生え放題、ごみは捨ててある。それで、昔なら生徒にさせろということだったでしょうけれど、市として、やっぱり観光をおっしゃるなら、あの汚さの解決方法も考えていただきたいと思いますけど。

○大坪委員

行政区名の変更について、ちょっとお尋ねいたします。

現在の蒲池地区の行政区名が、身近なことですけど、立石大沖団地、中村越棟団地とありますが、大沖団地と越棟団地は、全部移転して空き地になっております。それが2年前から地域の要望もあちらこちら声を聞いておりましたので、区長の方にも連絡とって、区長の方からも市に再三申し出ておるといふことですけど、まだ変更になってないようですので、早急に行政区名の変更はできないでしょうか。お尋ねします。

○小野村会長

今のは、ちょっと補足しますとね、もう1カ所の深町団地跡地があるんですよ。その跡地で、ゲートボールとか、グラウンドゴルフをさせてもらいたいと、こういう要望が高齢者の方から出ているんです。ところが、市の方は、用途については今検討中だといふことで、使用についてはストップをかけたままで、返答があつていないというのが現状なんです。だから、住民の方は、市が新たな用途を考えて、

そこを別なことで何か事業を始めれば、使用は中止しますと、やめますと、だからそういった事業が始まるまでの利用をさせてもらいたいというのが要望事項であるんですが。そういうのを、やっぱり早急にそういった公共用地の利用等についても考えていただきたいと思います。

○大坪委員

民生委員をしているので、証明書を持ってこられるんですよね。行政区名を書くようになっているけど、立石大沖団地と、越棟団地は全然もう空き地になって、全然おられないのに、立石大沖団地、2年間書いてきて、ちょっとそこに抵抗がありますので、早急にできないでしょうか。2年になります。

○事務局

それは、ちょっとうちの課の担当じゃございませんので、わかりませんが、私もちょっと何でそのままになっとるやろうかと思いましたが、担当課の方には、それは言っているんですかね。

○大坪委員

はい、言っております。

○成清委員

今の問題ですけれども、実は両開も3人いらっしゃいますので、ああそうやったというのが思いつかれると思いますけれども、両開の両開中学校跡地の問題も、相当地元から早く何とかしてくれということで要請をしておりましたが、大分これも時間がかかったようで、というのは、今恐らく蒲池の方も、もう草がぼうぼうになっとるんじゃないかと、今私聞いて、そう感じましたけれども、両開の方も、非常に荒れた土地になってきた。今は、もうグラウンドゴルフに使ってありますので、非常に整備をされております。というのは、そのグラウンドゴルフをされる会員さんが、よく草をむしってありますので、非常に市の方も便利になるわけですよ。そこを利用者が、ある程度の清掃をしていけますので、非常にいいわけですよ。ですから、やはりそれも蒲池の方も早くそういうことで、どの部署が持っているかわかりませんが、やはりなるだけ、そういうことで使った方がいいんじゃないかと思っておりますので、特にまたそれは両開がそういうことがあったものだから、蒲池の今の提案に対しては早くやってほしいなあという感じがします。

○立花委員

両開は、地域の方に使っていただきよるけん、きれいになつとると、だからどんどん使ってもらうとかね。

○事務局

実は、跡地問題は、その団地跡だけではなくて、市の物件で、かなりあるんですよ、普通財産として持っている分がですね。それを全部使うということでは、今考えておりません。使うべきやつは使う、売るべきやつは売るということで、間もなく市役所内部で検討委員会をつくって、その辺の仕分けをして必要ないというのは、全部もう売っていきます。競売にかけてですね。そうしないと、財政上、大変厳しいもんですから、その辺のところは十分御理解をいただきたいと思っております。

それと、行政区名は、私もその辺承知しておりませんで、早速対応をさせていただきます。

○大坪委員

はい、お願いします。

○小野村会長

どっちにしても、公共用地の跡地の再利用については、早急に取り組んで、今部長さんがおっしゃったように、もう市で利用しないところについては、払い下げを出していくというようなことで、その跡地を抱えている近くの方は、また迷惑の点もあるんですよ、草が茂ると、蚊の発生地にもなるし。

そのほか皆さん方、今のような身近ないろいろな問題点等があると思いますが、出していただきたいと思いますが。

○立花委員

これは、どういう形で、ちょっと答申が出されるのかわかりませんが、今お話を聞いていると、いろんな問題、交通手段を含んで道路問題とか、教育問題、それから公共施設だとか、環境問題、いろんなその他なり、そういうふうきちんと分けて、あれをつくっていった方がいいでしょうね。市長さんもわかりやすいというか、道路問題では、こういう、あれがいろいろあっているんだらうなあということで。

○小野村会長

私は、一応その点については次回の答申段階で、事務局の方である程度選別をして、道路問題なら道路問題でまとめてもらうんじゃないかということで、きょうの場は、それぞれこだわらんで出していただくと、その方が、意見が出しやすいんじゃないかなろうかと思って進めておりますので。

○事務局

会長さん、そういうふうに取り入れ、いろんな御要望を出していただくのは結構ですが、合併によって、具合の悪うなったばいとか、そういった点がもしあれば、そういうのを出していただくと助かります。

○成清委員

一発目に、今要望が、これはもう恐らく到底難しい問題と思いますけれども、近い将来は、やはり一つの庁舎をつくってほしいというのが、恐らく柳川市民は考えてあるんじゃないかなあと思うわけです。というのは、それぞれの、例えば私は農業関係ですから、その農業関係にしても、まず大和庁舎で全部できればいいんですよ。農業関係は大和町にありますから、大和庁舎でいいんですけども、ほかに何か用のあったときは、三橋回り、柳川回り、大和回りということで、非常に不便さを感じてあっとじゃなからうかなあという感じが、私するわけです。ですから、これはもう相当な経費もかかることだから、今そういうことをせろという問題ではないですけども、将来的には、やはりこれは統一すべきじゃないかなあと思います。

○小野村会長

今の点は、私もつくづく思うんですけどね、やっぱり分庁方式は失敗やったと思うんですよ、本庁方式に一本まとめてですね。そうしないと、今までがここに来れば何でもできよったから、ここでよからうということで思ってきたら、いや、この問題は三橋に行ってくださいと、これは大和に行ってくださいと言われて、足持たずに往生したという話を聞くんですよ。そういったことで、やっぱり早急に本庁方式に一本化して、やってもらいたいと思うんです。特に、課の名称が1年、1年変わっていくでしょう。だから、やっとな、ここはここでしてもらわにやいかんと思っていると、行くと、いや、それは私のところから外れておりますよというようなことで、そこら辺も考えてもらわんと、利用する人は非常に面食らうですよ。それ

は市報で流しておりますからとおっしゃいますけれどもね、市報をそこまで念入れて読んでいる人は、なかなか少ないんじゃないでしょうかと、そういった課の名称変更と同時に、その仕事内容が変更されていくもんですから、そこら辺も十分、やっぱり市民の立場を考えてですね、お願いしたいと思うんです。

○事務局

本庁方式が、確かに理想ではありますが、合併当時は、消防署を除いて520 人ぐらいの職員がおったですよ。それを、仮に柳川庁舎の中に全部寄せて、一つの庁舎にするというのは、入り切らんもんでですね、ああいう形で3つの庁舎をつくったということと、もう一つは、やはりバランスよく合併時にいろんなサービスをしていきますよという目的がございまして、ああいう形にしたわけですよ。ですから、先ほど成清組合長さんもおっしゃったように、一つの庁舎の中で、すべての用事が済むというのが理想ですが、これをつくると、また50億程度の経費がかかりますからですね、将来の大きな課題ということになると思います。

○小野村会長

それと、もう一つは、ちょっと今合併のことで言われたから言っておきますがね、柳川の区長会の中で問題になっておるのは、合併したために負担が大きくなったと、そのことが強く頭にあるんですよ。例えば、社会福祉協議会の問題にしても、今まで柳川の場合、共同募金は450 円やったかな、これが500 円に上がる。何で50円値上げするのかと、あるいは会費導入ということで、500 円の会費導入が今提示されているんですが、何で会費を取るのかというふうな、柳川の福祉活動は、今まで順調に伸びてきていたはずだと、それが今のままではだめだという、柳川の場合、赤字が出ておったというようなことであれば、会費の値上げとか、あるいはそういったことについても納得できるけれども、順調にいつておったのが、合併で何でそういうふうにするのかというふうな、合併したために負担が大きくなったという意見が、非常に多いんですね。そこら辺も、ぜひ考慮していただきたい。

○事務局

社会福祉協議会の問題でしょう。

○小野村会長

今のは、社協の問題ですけれどもね。

○事務局

行政一般の役所の問題は何かございますか、負担が大きくなったとか。

○小野村会長

役所関係では、今のところ、税金問題で若干、固定資産税を標準額を引き上げようとしよるとでしょう。評価額に近づけようと、今ある程度減免してあるとやないとですか。

○事務局

それは、合併せんでも、そういう形になります。

合併の問題は、大和、三橋の固定資産税は1.4 %で、こっちが1.6 %という、その不均一課税の問題での不満は、若干あると思いますけど。

○小野村会長

市の行政の直接の負担ということは出てこないかもしれんけれどもね、今のような、市が絡んでいる外部財産、それこそ外郭団体というですかね、そういうところで、ちょっと社協の問題一つ、それと問題は和府と三橋府舎に行かにかい交通費の問題ですたい。今までは、ここに来れば済んでおったのが、農業問題なり、水路問題になると、和府まで行かにかいし、教育問題になれば、三橋に行かにかいというふうなね。それで、合併でよかったなあという声は、あんまり聞かんごたるばってんなあ。

○古賀（慶）委員

ちょっとお尋ねしますが、今の固定資産税の問題ですが、1市2町何%に落ちつく予定でございますか。

○事務局

それは、まだ、分かりません。

○古賀（慶）委員

なら、旧柳川市だけが高く取ってあるということなんですね、今は。

○事務局

今はですね。5年間ですね。

○古賀（慶）委員

5年後に統一するということですか。

○事務局

そうなると思います。5年後、不均一課税という形になりませんからですね。ですから、1.4になるのか、1.6になるのか、1.5になるのか、それは、ちょっと今のところわかりません。

○古賀（慶）委員

今は、実感としては、高いというような感じを持っておるわけですよ。

○古賀（寿）委員

きのう、私も行政改革推進委員会に出ましたけど、ここに柳川市が出しております施設の使用料の問題ですね。これで、きのうすごく話が三橋の方から出ておりましたけれども、減免のことですね。三橋の方、私たちはずっと以前から使用料出しておりましたんで、何とも抵抗を感じておりませんでしたけれども、三橋の方たちは、もうその使用料を出していらっしやらなかったみたいですから、それがいろんな団体、こういう団体も使用料を取らないでいいのかなという思うぐらいの団体でも取っていらっしやってなかったみたいですから、合併しても、何でもかんでも取られると、合併したから、もうマイナスばかりで、きのう散々言われましたね。だから、ああいうのをよく調整しないと、もう合併して悪かった、悪かったと、三橋がすべてのことにおっしゃるんですよ。柳川と一緒にになったから、何でも高くなった。もう不便になった。そうすると、合併した意味がなくなって、皆そういうことを考えていただくとマイナスなんじゃないかなあと、しみじみ思いました。

○大村委員

市民は、みんな悪くなったことしか言わないですね。よくなったことは、一つも言わないわけですよ。そういう面があります。それで、さっきも市庁舎の統一問題が出たんですけども、当時合併するとき市の方は、たしか市庁舎が遠くなるんじゃないかとかいうことについては、そうじゃありませんと、ちゃんと今までのを残して、そこの窓口で仕事ができるようになりますということを、PRも盛んにやっておられたですね。もう、そのための冊子なんかも、いっぱいあります。だから、市民がよく勉強せにゃいかんということやないかなあと思いますね、私は。

○古賀（寿）委員

市報も読んでないしね。

○大村委員

市報も読んでない人が、案外文句ばかり言うんですよ。ちょっと余談になりますけど。

○古賀（慶）委員

それとですね、今市報の話が出ましたけど、毎月2回来ておりますね。これは、私は無駄じゃないかと思うんですよ。1回でいいと思います。内容が、やっぱり、淡泊になった、お粗末になった、どういうふうに表現していいか知りませんが、もう内容自体が、そう2つに分かれたために、価値があんまりないような感じを受けるわけです。それで、やっぱりできるなら、1回の方が、従前の市報の方が充実した内容じゃないかというふうな感じを受けております。それで、1回にしてもらいたいというのが、要望です。

○古賀（寿）委員

何かあれ賞をもらっているでしょう。

○立花委員

市報は2回でやっとするですかね、大変やなあ。

○事務局

合併のときにどうするかという話があって、大和が2回出していたんですよ。1日号を普通のうちで前出していたようなやつで、15日号がお知らせ版みたいな行事とか何か、早くお知らせせんといかんようなですね、だからそういう形で新市になってもやろうということで、県内の市を見ても、大体2回出しているところが多いということのようです。

○小野村会長

今の2回発行の問題は、柳川の区長会の中じゃ、やっぱり1回にしてもらいたいという要望が強いもんね。そうすることによって、職員の負担も軽くなるんじゃないかと、2回のために、職員の負担が重くなったりやせんかというような意見も区長会の中で出ておりました。だから、要望としては1回にさせていただきたいと、配布するのが云々ということじゃないんですが。

○事務局

ただ、今の情報化時代の中に、先ほども言いましたように、ほかの市が月2回出

しているという中で、柳川市だけ、そのような広報体制でいいのかということですよ。やはり、どんどん情報も流して、公開をしていくという姿勢を、新市はとるべきだということで、2回しとるとですよ。

○大坪委員

ありがたいことやねえ、2回出していただいて。

○事務局

内容よりも情報の速報性ですね。

○小野村会長

ところが、そういうことじゃなかごたるもん。例えば、きょう新聞見て、初めて知ったんですがね、観光拠点づくりの問題なんか。ああいう問題があれば、市報の中に出して、前もって知らせておけばよかろうもん。きょう、新聞にぼっと出とったから、初めて、ありゃ、こういうことが企画されているのかなあということで、びっくりしたんですよ。

○事務局

あれはですね、新聞だから、ああいう形で書けるけれども、行政としては、あれはまだ予算化されていないんですよ。今度の6月で補正予算で予算化するわけですよ。ですから、やはり行政としては、議会で議決された予算に基づいて広報するというのが筋ですから、なかなかその辺が難しいところです。

○小野村会長

そういうことであるならね、なぜマスコミに流したかということですよ。

○事務局

全員協議会の中でお話ししましたから、その中からの情報ですよ。

○小野村会長

だから、そういうのをね、やっぱり事前にマスコミ等で知るんじゃなくて、市報等で知って、そして要望等があれば受けるというようなことでやっていくと、2回もやってもらうのはよかろうということになるだろうばってん。

○立花委員

こういうことを今検討していますということは載せられないんですか。もう何でも決まってしまったやつしか出てこんから、もうそれに賛成も反対もへったくれも

ない。だんだん、市民が何に関心持っても同じことということになってきちゃうんですね。何か事前の、そういう情報というか。だから、本来だったら、月に1回出ている市報を何とか2回出してほしいというのが本来の姿やろうけど、2回出ているのを1回にくださいという市民から出てくること自体が、あんまりおかしい。だから、本当に必要な情報というものが、あの中に入っているんやろうかなあという気がしますけれども。

○事務局

おっしゃるとおりですよ。確かに、そういった現在の広報の欠点はその辺に、若干ありますので、もう少し行政情報を、内部の情報をしっかりお知らせして、そこで意見を求めるとか、そういった広報活動を、今後とはとるべきかなあというふうに思います。

○古賀（慶）委員

それと、市報には、やっぱり市民の声といいますかね、そういうものも取り上げるべきじゃないかというような気もしますね、そういう欄をつくってね。

○大坪委員

行政区域の見直しなんかは検討してありますか。こう見よったら、行政区が受け持ち戸数が10戸ぐらいのがあって、200、300とあるんですよ。その辺で、10戸ぐらいなら何回市報の来たっちゃいいけど、やっぱり大きいところで200ぐらいあるところは、見直し検討はしてありますか。そしたら、経費節減にもなると思いますけど。

○事務局

旧柳川でですね、2年間ほどかけて検討をして、地元にもおろしてやりましたけど、ちょうど合併の時期に重なりまして、また合併すれば、新たな行政区問題が発生するというので、一旦中止をしてですね、新市の課題という大きな課題になっておりますが、現在のところ、まだ委員会とかの立ち上げはあっておりません。早急に取り組んでいくということですね。

○大坪委員

はい、お願いします。

○小野村会長

今のは行政区の見直しを早急にやっていただきたいという要望だったと思いますから。

ほかはございますでしょうか。

それでは、あんまり意見もないようでございますので、次に移りますが、きょうはお互いに腹藏ない意見を出し合うということで、いろいろなことを申し上げましたけれども、ひとつよろしくお願いしときたいと思います。

次の議題ということで、今後のスケジュールについて、事務局の方から説明をお願いしたいと思います。

○事務局

最後のページをあけていただきたいと思いますが、今後のスケジュールということで載っております。

先ほど、説明の中での繰り返しになるかと思いますが、地域審議会としての答申案の協議ということで、5月の下旬に第2回の地域審議会の開催の予定をしております。

それから、総合計画や予算の方に反映させるということで、6月中に答申ということで考えております。

それから、第3回の地域審議会につきましては11月、それと第4回につきましては年明けの2月に開催を予定しております。

それで、第2回の地域審議会の開催ですけれども、5月の下旬ということで書いておりますけれども、こちらの方の案としまして、5月30日の午後にどうであろうかということで、ちょっと御提案申し上げますけれども、委員の皆様の御都合の方はどんなものでしょうか。

○小野村会長

5月30日は、ちょっと私だめです。福祉協議会の蒲池地区の総会を予定しとるから、大坪さんもだめです。

○事務局

そうしたら、31日の午前中はいかがでしょう。

○小野村会長

午前中は、福祉協議会と社協との話し合いを。

○事務局

午後は、別の会議がちょっとありましてですね。そうしたら、30日の午前中はいかがでしょうか。

○小野村会長

30日は、午前中、午後もだめや。午前中は区長会と社協との話し合いで、午後は社協の総会ということで。

○梅崎副会長

29日でけんですか。ここの人、みんな29日ならよか。ほかは全部詰まっとするです、私は。全くあいとらん。

○事務局

そうしたら、29日の午前中はいかがでしょうか。

○成清委員

ちょっと事務局に聞きますが、これはもう原則的に代理というのはだめやろう。

○古賀寿代委員

代理はだめ、もう欠席でよかっちゃろうもん。

○事務局

何かあれば、事前に言うっててください。こういうのも入れると。

○小野村会長

今、5月29日の午前中ということで、検討してありますが、よろしゅうございませるか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○事務局

29日の午前中でよろしいでしょうか。

○小野村会長

それでは、29日の10時からということで、確定させていただきます。

そのほか何か事務局の方ありますか。

○事務局

はい、ございません。

○小野村会長

それでは、御意見を出していただきまして、ありがとうございました。

以上で、本日の地域審議会を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。
した。

午前11時06分 閉会